

学校法人健生学園  
東日本医療専門学校  
校長 高橋 孝義 殿

学校関係者評価委員会  
委員長 安達 淳

令和6年度 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会は「令和6年度学校自己評価報告書」に基づき学校関係者評価を行いましたので、下記のとおり評価結果を報告いたします。

記

1. 学校関係者評価委員

- ① 安達 淳 (地元企業関係 イーグル整骨院、卒業者関係 柔道整復科卒業)
- ② 坂野 真 (地元企業関係 さかの鍼灸接骨院、卒業者関係 柔道整復科卒業)
- ③ 鈴木 洋介 (地元企業関係 名取中央はり灸治療院、卒業者関係 柔道整復科、  
鍼灸スポーツ科学科卒業)
- ④ 木津 慎 (関連業界団体等関係者 ジャパン柔道整復師会)

2. 学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 令和7年3月26日 東日本医療専門学校 会議室

3. 学校関係者委員会報告書

別紙のとおり

以上

学校法人健生学園 東日本医療専門学校  
令和6年度 学校関係者評価報告書

1. 「教育目標」に関して

委員評価	委員からの意見
<b>3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育目標に関してはまったく問題ありませんが、一般の方がもっと伝統医学や民間療法に関心をもって実践していただければな、という思いがあります。年々、西洋的検査→診断→治療・薬が主になって来ていますね。(安達委員)</li> <li>・スポーツコンディショニングと一般の方の施術を目的とする方との割合は学生でどれくらいでしょうか。(坂野委員)</li> <li>・柔道整復師、鍼灸師が活躍できるフィールドが広がっている中で、生徒それぞれが卒業後の明るいビジョンを描けるよう導いてほしい。(木津委員)</li> </ul>

2. 「本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画」に関して

委員評価	委員からの意見
<b>3</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育やそれに関しての英語、体操などで新しい動きが楽しみです。各項目ともひとつひとつ丁寧にあたって下さい。どれも大変な目標と思いますので。(安達委員)</li> <li>・目標にある時代にあった取り組みは重要だと思います。(鈴木委員)</li> <li>・定員に対しての応募がどれくらいあったか知りたいです。(坂野委員)</li> <li>・生徒募集には学校の魅力を発信するのはもちろんだが、柔道整復師、鍼灸師の職業としての魅力を発信し目指す人材を創出することも重要と思う。(木津委員)</li> </ul>

3. 「評価項目の達成および取組状況」に関して

3-1 教育理念・目的・人材育成像

評価項目	学校評価	委員評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	<b>4</b>	<b>4</b>
学校における職業教育の特色は何か	<b>4</b>	<b>3</b>
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	<b>4</b>	<b>3</b>
学校の理念・目的・育成人材像・特色・未来構想などが学生や保護者に周知されているか	<b>3</b>	<b>3</b>
各学科の教育目標・育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	<b>4</b>	<b>3</b>

(委員からの意見)

- ・「理想」や「哲学」「理」「真理」はこれからの時代とても大事と考えますので、上記の授業があるといいですね。(安達委員)
- ・今の時代にあった運営、広報がよくできているが、医療としてのプロフェッショナル感ももう少し伝えられると良いと思います。(鈴木委員)
- ・HPを見る限り、スポーツに特化していると見受けられます。卒業後どれくらいの方がスポーツの分野に進むでしょうか。(坂野委員)
- ・SNSや動画の配信は情報発信の主流ではあるが、反面相応のリスクが伴うものとする。運用にはしっかりとした管理体制が必要。(木津委員)

### 3-2 学校運営

評価項目	学校評価	委員評価
目的に沿った運営方針が策定されているか	4	4
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
人事や給与に関する規定は整備されているか	3	3
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
教育活動に等に関する情報公開が適切になされているか	4	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3
(委員からの意見)		
・世の中も不祥事や組織内の犯罪が起こっている。だから良いというわけではないが、これまで明るみにならなかったことが明るみになる世の中だから、コンプライアンスや倫理が大事ですね。(安達委員)		
・附属治療院もより活発に活動できるとよりよいと思います。(鈴木委員)		
・特にありません。(坂野委員)		

### 3-3 教育活動

評価項目	学校評価	委員評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4	4
教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年数に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4

キャリア教育や実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	<b>4</b>	<b>3</b>
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	<b>4</b>	<b>3</b>
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップや実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	<b>4</b>	<b>3</b>
授業評価の実施・評価体制はあるか	<b>4</b>	<b>4</b>
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	<b>4</b>	<b>4</b>
成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	<b>4</b>	<b>4</b>
資格取得等に関する指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	<b>4</b>	<b>4</b>
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	<b>4</b>	<b>4</b>
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務含む）を確保するなどのマネジメントが行われているか	<b>4</b>	<b>4</b>
関連分野における先端的な知識や技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	<b>4</b>	<b>3</b>
職員の能力開発のための研修等が行われているか	<b>4</b>	<b>3</b>
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年に導入したカリキュラムの成果が出るまでにも時間がかかると思いますので、引き続き取り組んで頂くとともに、カリキュラムの成果の検証・反省・改善をお願いします。(安達委員)</li> <li>・教員・学生共に、より外部の人間との関わり、交流があるとよりよいと思います。(鈴木委員)</li> <li>・精力的に活動していると感じた。(坂野委員)</li> <li>・療養費に関する知識習得の場が少ないと感じる。関連企業、団体の協力を得るなどして教育内容の充実を図るべきと思う。(木津委員)</li> </ul>		

### 3-4 学修成果

評価項目	学校評価	委員評価
就職率の向上が図られているか	<b>3</b>	<b>3</b>
資格取得率の向上が図られているか	<b>4</b>	<b>3</b>
退学率の低減が図られているか	<b>4</b>	<b>3</b>
卒業生や在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	<b>3</b>	<b>3</b>
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	<b>3</b>	<b>3</b>

(委員からの意見)

- ・【課題】と【今後の改善方策】で書かれている通り、問題に取り組むことをお願いします。(安達委員)
- ・入学したら必ず卒業しなければならないという時代でもないので、成績不良者に時間をかけるより、伸ばせる人材を伸ばした方が先生方のモチベーションにもつながるのではないかと。(坂野委員)
- ・自身の卒業後を明確にイメージしてもらうためには、卒業生から情報を得ることが有効と思う。卒業生が勤務している職場への見学やインターンであればより効果的と思うので、そのような場を積極的に設けていくべき。(木津委員)

### 3-5 学生支援

評価項目	学校評価	委員評価
進路や就職に関する支援体制は整備されているか	<b>4</b>	<b>3</b>
学生相談に関する体制は整備されているか	<b>3</b>	<b>3</b>
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	<b>4</b>	<b>4</b>
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	<b>3</b>	<b>3</b>
課外活動に対する支援体制は整備されているか	<b>3</b>	<b>3</b>
学生の生活環境への支援は行われているか	<b>3</b>	<b>3</b>
保護者と適切に連携しているか	<b>4</b>	<b>3</b>
卒業生への支援体制はあるか	<b>3</b>	<b>3</b>
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	<b>3</b>	<b>3</b>
高校や高等専修学校等との連携によるキャリア教育や職業教育の取組が行われているか	<b>3</b>	<b>3</b>

(委員からの意見)

- ・高等教育無償化の認定を受けて、対象者が入学したりしていますか。(安達委員)
- ・多子世帯の大学無償化の対象校はどんな学校ですか。(安達委員)
- ・学生がどういう方向性の現場で働きたいのか、きっかけになる機会をより多く作れると良いと思います。(鈴木委員)
- ・学生が、治療家になりたいのか、経営者になりたいのか、スポーツコンディショナーになりたいのか、開業が目的か、出世が目的か等のアンケートはとった事がありますでしょうか。(坂野委員)

### 3-6 教育環境

評価項目	学校評価	委員評価
施設や設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4	4
学内外の実習施設・インターンシップ・海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
防災に対する整備はされているか	4	4
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・たまたまですが、スポーツをやっている学生が当院に通われていて、去年と今年と、順天堂大学のスポーツ健康科学部に入学と受験した方がいらして、「将来はスポーツトレーナーになりたい」といっています。</li> <li>・3-6 教育環境のコメントではないかもしれませんが、順天堂大学のような所と教育環境やその他、総合的に比べられてしまうのかなど。(安達委員)</li> <li>・外部臨床実習はどういうものかを知らない接骨院、鍼灸院の先生は多いと思います。(鈴木委員)</li> <li>・問題ないと思います。(坂野委員)</li> </ul>		

### 3-7 学生の受入れ募集

評価項目	学校評価	委員評価
学生募集活動は適正に行われているか	4	3
学生募集活動において教育成果は正確に伝えられているか	4	4
学納金は妥当なものとなっているか	4	4
<p>(委員からの意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020年と違い、募集活動が行われていることはとてもいいことです。(安達委員)</li> <li>・スポーツ以外の本来の接骨院、鍼灸院の領域で大活躍している方なども、もっと広報した方が良いと思います。(鈴木委員)</li> <li>・特にありません。(坂野委員)</li> </ul>		

### 3-8 財務

評価項目	学校評価	委員評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	4
予算や収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4	4

(委員からの意見)

- ・財務のようなどてもむずかしい事項に対して適正に行われていて何よりです。(安達委員)
- ・良いと思います。(坂野委員)

### 3-9 法令等の遵守

評価項目	学校評価	委員評価
法令や専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
個人情報に関し、その保護のために対策が取られているか	3	3
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	4
自己評価結果を公開しているか	4	4

(委員からの意見)

- ・プライバシーポリシーを意識して取り組まれているのはとてもいいことです。(安達委員)
- ・職業柄、個人情報は特に気を付けなければならないと思います。(坂野委員)

### 3-10 社会貢献・地域貢献

評価項目	学校評価	委員評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	3
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	3	3
地域に対する公開講座や教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託を積極的に実施しているか	3	3

(委員からの意見)

- ・長町3丁目・4丁目の商店街「サンカトゥール商店街振興組合」のお祭、神社のおみこし、七夕、灯籠祭り、浅野清掃活動等に、近所の専門学院や大学が参加して下さいます。そのことは、その学校のHPでも見ることが出来ます。ご参考までに。(安達委員)
- ・就職してから業界やスポーツ現場の実際を目の当たりにするのではなく、学生には積極的に外部でのボランティア等に参加できる環境を整えると良いと思います。(鈴木委員)
- ・地域清掃等の簡単な事から始めても良いと思います。(坂野委員)
- ・地域交流やボランティアへの参加は、学校や柔道整復師、鍼灸師という職業をPRする有効な手段なので、積極的に参加して活動報告を行っていくべきと思う。(木津委員)